

メッセージアウトライン

週課	第三年 第一課 第一週
単元	ヨハネの福音書・1
テーマ	無から生み出す主
タイトル	カナの婚礼
テキスト	ヨハネ2:1-11
参照箇所	
暗唱聖句	ヨハネ11:40 or ヨハネ2:11

導入	みなさんは、結婚式に行った事がありますか?そこには、新郎新婦と二人をお祝いする人たち、そしてごちそうがいっぱいありますね。二人の結婚式が、いいものになるように、たくさんの人が裏で働いているのです。イエス様の時代にも、結婚式がありました。そんな時に困った事が起こったのです。
I	<p>結婚式でハプニングがありました</p> <p>A. お祝いのぶどう酒がなくなりました</p> <p>B. 今からでは用意が出来ません</p> <p>C. 誰もどうしたらよいかわかりません</p>
II	<p>マリヤはイエスさまに助けを求めました</p> <p>A. イエス様のお母さんのマリヤも結婚式に来ていました</p> <p>B. マリヤはイエス様にぶどう酒が無くなった事を告げました</p> <p>C. 手伝いの人たちにイエス様の言われた通りにするように告げました</p>
III	<p>イエス様は最初の奇蹟を行なわれました</p> <p>A. イエス様はまず水がめに水を満たすよう手伝いの人に言いました</p> <p>B. その後、水がめを結婚式の世話役のところへ持って行くと、水は上等のぶどう酒に変わっていました</p> <p>C. 弟子たちはイエス様の栄光(すばらしさ)を見て、イエス様を信じました</p>
結論	イエス様は水をぶどう酒に変えることのできる力を持っておられます。
適用	どんな事でもイエス様に求めましょう。そしてイエス様の言葉に聞き従いましょう。そのようにイエス様に従うなら水がぶどう酒に変えられたように、私たちの生活の中でイエス様の栄光(イエス様って素晴らしいなあ)を現わして下さいます。
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第一課 第二週
単元	ヨハネの福音書・1
テーマ	全てを知っておられる主
タイトル	サマリヤの女
テキスト	ヨハネ4:1-30
参照箇所	
暗唱聖句	ヨハネ4:14

導入	あなたは悪い事をしたとき、どんな気持ちになりますか？ 誰にも会いたくなかったり、自分の悪い事を知られたくないと心の中にしまい込んで苦しくなる事はありませんか？
I	<p>女の人が井戸に水を汲みに来ました。</p> <p>A. 誰にも見られない時間に水を汲みに来ました。(昼の12時)</p> <p>B. 女の人には、誰にも知られたくないことがありました。</p> <p>C. 近所の人から身を隠すように生活をしていました。</p>
II	<p>イエス様は、何でも知っておられます。</p> <p>A. イエス様は、この女の人がこの時間に水を汲みに来る事を知っていました。</p> <p>B. イエス様は、この女の人失敗したことを全部知っていました。</p> <p>C. イエス様は、この女の人に必要なものを知っていました。</p>
III	<p>女の方は、本当に必要な方をみつけました。</p> <p>A. 女の人には、自分の事をわかってきて、この状況から救い出してくれる人が必要でした</p> <p>B. 女の方は、イエス様こそ待ち望んでいた救い主だとわかりました。</p> <p>C. 女の方は、救い主イエス様に会い、喜びに溢れ、人々に伝えました。</p>
結論	女の方は救い主イエス様に会いました
適用	あなたは、心の中に誰にも言えない苦しい経験や思いを持っていますか？ また、誰にもわかってもらえない悲しい思いを持っていますか？イエス様は、あなたの全部を知っています。そして、イエス様とお話すると、心が解放されて喜びが与えられます。イエス様にあなたの心の中を全部お話ししましょう。
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第一課 第三週
単元	ヨハネの福音書・1
テーマ	用いられる主
タイトル	五つのパンと二匹の魚
テキスト	ヨハネ6:1-13
参照箇所	マタイ14:14-21、マルコ6:32-44、ルカ9:10-17
暗唱聖句	IIコリント9:7

導入	お母さんが作ってくれたお弁当ってうれしいですよね。それを食べるのが楽しみなんですけど…でも、このお弁当があんな事件になるなんて、想像もできないでしょうね。
I	<p>大勢の人がイエス様のもとに集まってきました(1-7)</p> <p>A. イエス様のお話が聞きたくてついて来た人が、大人の男の人だけでも5千人くらいの人がありました。</p> <p>B. イエス様は、ピリポにこの人たちにパンをあげる方法を聞いてみました。</p> <p>C. ピリポは、すぐにお金を計算し、足りないと答えました</p>
II	<p>一人の少年がお弁当を献げました(9-10)</p> <p>A. お弁当は、五つのパンと二匹の魚でした。</p> <p>B. 少年が持っていた全部のものを献げたのです。</p> <p>C. 少年は、五千人の中には数えられていませんでした。</p>
III	<p>イエス様は少年の献げものを用いられました(11-13)</p> <p>A. イエス様は感謝を献げてから、弟子たちに配るようにいわれました。</p> <p>B. 集まっていたすべての人が、お腹一杯になりました。</p> <p>C. 食べ残したものを集めると、12のカゴ一杯になりました</p>
結論	イエス様は、名もない少年の献げものを用いて、大きな奇蹟をなさいました。
適用	私たちがイエス様に喜んで献げるなら、どんなに小さなもの(物・者)でも祝福して、何十倍にもして下さるのです。献金も祈りも教会のために働く時間も、そして何よりあなた自身を神様のために用いて頂くものになりましょう。
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第一課 第四週
単元	ヨハネの福音書・1
テーマ	罪の赦し
タイトル	罪をゆるされるイエス様
テキスト	ヨハネ8:1-11
参照箇所	マタイ6:9-13、エペソ4:32
暗唱聖句	マタイ6:12

導入	悪いことをしている人がいたらどうしますか？友だちの嫌なところを見てしまったらどう思いますか？イエス様はどうしたと思いますか？
I	<p>罪を犯した女の人が、みんなの前に連れてこられました(1-6)</p> <p>A. 罪を犯した女の人が、みんなの前に連れてこられました。</p> <p>B. 律法学者やパリサイ人たちは、石打ちにするかどうかをイエス様に尋ねました。</p> <p>C. イエス様は、身をかがめて地面に字を書いていました。</p>
II	<p>イエス様は「罪のない者が石を投げなさい」と言いました(7-9)</p> <p>A. 律法学者やパリサイ人たちは、さらにしつこくイエス様に質問しました。</p> <p>B. イエス様は「罪のない者が、まず石を投げなさい」と言われました。</p> <p>C. 彼らはそれを聞くと、年長者から去って行きました。</p>
III	<p>イエス様は、罪を犯した女の人をゆるされました(10-11)</p> <p>A. イエス様は女の人に「あなたを罪に定める人はいなかったのですか？」と尋ねました。</p> <p>B. 女の方はイエス様に「だれもいません」と言いました。</p> <p>C. イエス様は女の方の罪をゆるし、「もう罪を犯さないように」と言われました。</p>
結論	イエス様は人を罪に定めるために来られたのではなく、罪を赦し救うために来られたのです。
適用	<p>1. 誰かのことをうらんだり、「あいつは駄目だ」とさばく心はないでしょうか？イエス様はその人のことをどう思っていると思いますか？</p> <p>2. 皆さんはイエス様が喜ばれない罪をそのままにしていますか？どうしてもやめたいのに何度も同じ罪をおかしてしまうことはありませんか？もしイエス様に喜ばれない罪が示されたら、十字架のイエス様に正直に告白しましょう。イエス様は罪をゆるし、私たちをその罪から救いだしてくれます。</p> <p>3. 「主の祈り」を覚えて祈ってみましょう。</p>
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第一課 第五週
単元	ヨハネの福音書・1
テーマ	栄光の主
タイトル	盲人のいやし
テキスト	ヨハネ9:1-12
参照箇所	
暗唱聖句	ヨハネ9:3

導入	目が見えないと困りますね。でも、生まれた時から目の見えない人がいます。お母さんの顔もお父さんの顔も、みんなが見ているテレビの画面も見えないのです。きっと、目をあけて見たいと思うでしょうね。イエス様の時代にも生まれつき盲人の人がいました。
----	--

I	生まれつきの盲人がいました(1) A. この人は、生まれつき目が見えませんでした。 B. 毎日物乞いをして生活をしていました。 C. イエス様は、この盲人を見つめられました。
---	--



II	盲人はイエス様と出会いました(2-4) A. 弟子たちは「目が見えないは誰が罪を犯したからですか」と質問しました。 B. イエス様は、誰の罪のためでもないと答えました。 C. それは神の栄光が現れるためだったのです。
----	---



III	イエス様は盲人を癒されました(6-12) A. イエス様は、地面につばを吐き泥を作って、盲人の目に塗りました。 B. イエス様は、盲人にシロアムの池に行き目を洗うように言われました。 C. 盲人が、イエス様に言われた通りにすると、目が見えるようになりました。
-----	--



結論	盲人が見えるようになって神様の栄光が現されました。
適用	何か不幸なことがあると因縁やのろい、祟りだなどと言われることがあります。しかし、そのようなものはありません。イエス様が証明して下さいました。あなたもどんな悪いと思える状況にあってもイエス様によって神様の栄光に変えていただくことができます。
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第一課 第六週
単元	ヨハネの福音書・1
テーマ	救い主イエス様
タイトル	良い羊飼い
テキスト	ヨハネ10:1-18
参照箇所	詩篇23篇
暗唱聖句	ヨハネ10:11

導入	羊を見た事がありますか?羊はとってもおとなしいのですが、迷子になりやすい動物です。羊飼いがいないと、家にも帰る事ができないばかりか、オオカミに食べられてしまうのです。だから、羊を守ってくれる羊飼いがひつようなのです。
I	<p>良い羊飼いは羊の味方です</p> <p>A. 良い羊飼いは羊たちの声を聞き分け、一匹ずつの名前を知っています。</p> <p>B. 良い羊飼いは、安心して羊たちが食べられる牧草に連れて行きます。</p> <p>C. 良い羊は、命がけで羊たちを守ります。</p>
II	<p>イエス様は良い羊飼いです</p> <p>A. イエス様は、あなたのことを全部知っておられます。</p> <p>B. イエス様は、いつもあなたの側にいて守って下さいます。</p> <p>C. イエス様は、誰よりもあなたを愛しておられます。</p>
III	<p>イエス様の愛は命がけの愛です</p> <p>A. イエス様は、あなたの罪のために十字架にかかられました。</p> <p>B. イエス様は三日目によみがえり、今も生きておられます。</p> <p>C. イエス様はあなたを悪い事から命がけて守って下さいます。</p>
結論	イエス様こそ私たちの羊飼い、私たちの味方、私たちの救い主です。
適用	イエス様が、あなたの救い主だと信じますか。あなたは、イエス様の側を離れないように、聖書を読み祈りましょう。
備考	

